

## 財務会計

八重倉 孝 教授

1) 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

国際分野を中心とした財務会計に関する実証研究および制度研究を行ってきた。特に会計情報が市場に与える影響、会計情報による企業評価、及び市場の(非)効率性に関心を持っている。近年は、会計基準の理論分析と、会計学の研究方法論についての研究を進めている。

2) 指導方針

修士課程では、二年間で会計学の研究者に必要な知識を習得し、さらに修士論文を完成しなければならない。前者の目的を達成するために、商学大学院の持つ資源をフルに活用することで隣接分野の知識を得つつ、コースワークとして会計学の文献を網羅的に読み込む。後者の目的を達成するために、一年時の早い段階に論文のテーマを確定し、論文作成に必要な文献を集中的に読み込みつつ、論文作成に必要な技法を習得することを目指す。修士論文については、海外の学会において研究報告を行うことも目標とする。

3) 学生に対する要望・その他

入学者はコースワークにおいて毎週数本の英文文献を読みこなせるだけの英語の読解能力と、自分の研究結果の報告や他者の研究結果への論評を英語で行えるだけの英語の発信能力が必要である。大学院生にとって時間はいくらあっても足りない。修士二年間を会計学研究へフルにコミットする覚悟のある学生を期待している。